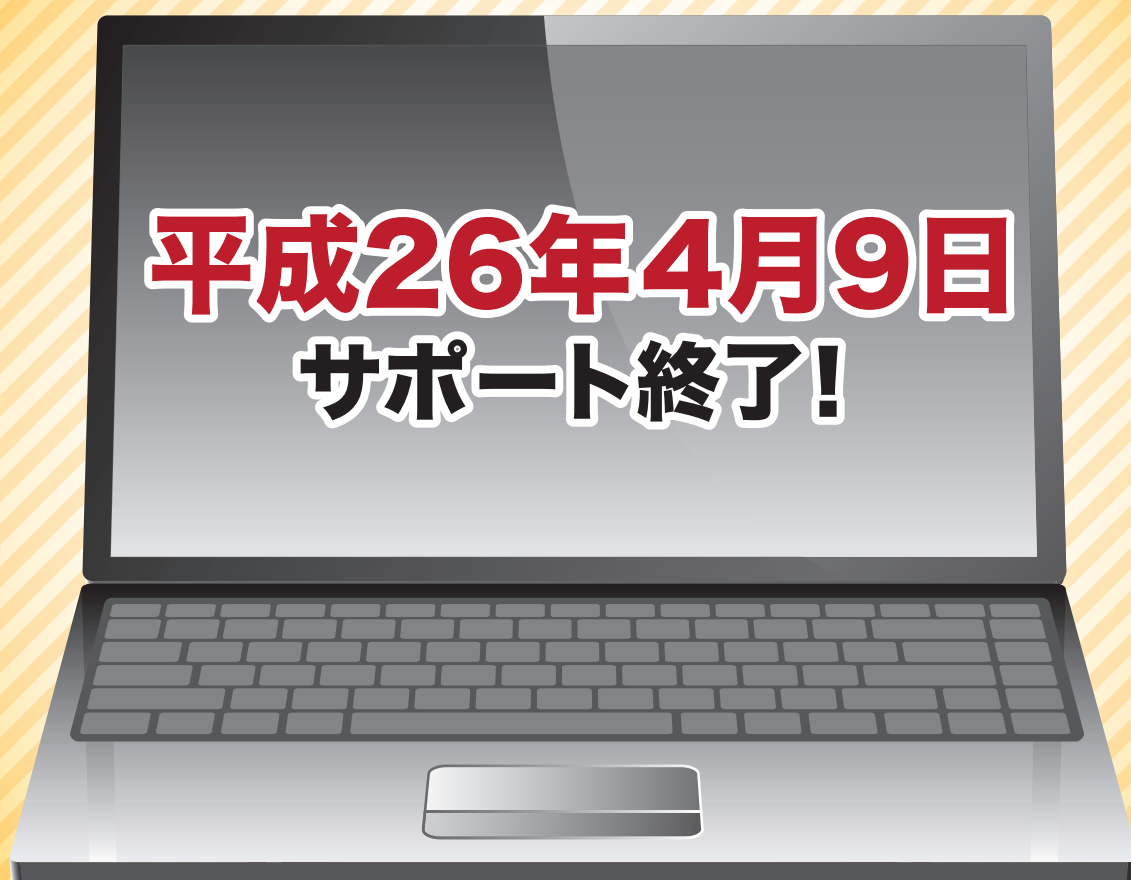


**WindowsXPとOffice2003**

**サポート終了  
緊急対応ガイドブック**



**平成26年4月9日  
サポート終了!**

**えっ!?**

毎日利用している  
パソコンが  
**使えなくなる!?**

日本商工会議所編

# サポート終了とは？



Windows XPおよびMicrosoft Office 2003、Internet Explorer6の3製品については、**2014年4月9日(日本時間)**をもって、このサポート期間が終了となります。

## サポート終了となると、具体的になにが起こるのか？

- ① マイクロソフトから重要な更新等の**プログラム提供がなくなる**
- ② その結果、セキュリティに問題があっても修正されなく、**危険な状態になる**
- ③ 最新のソフトや周辺機器などが**使えなくなる**

など

一般にOSのセキュリティホールと呼ばれる脆弱性があると、パソコンへの不正な侵入やデータ流出などさまざまな被害が生じる可能性があります。これらの脆弱性を補うのがセキュリティ更新プログラムなどですが、その提供がなくなると、パソコンが安全な状態ではなくなってしまいます。

ホームページ閲覧や電子メールなどインターネットやネットワーク経由での仕事が、それらのパソコンではできなくなるのです。

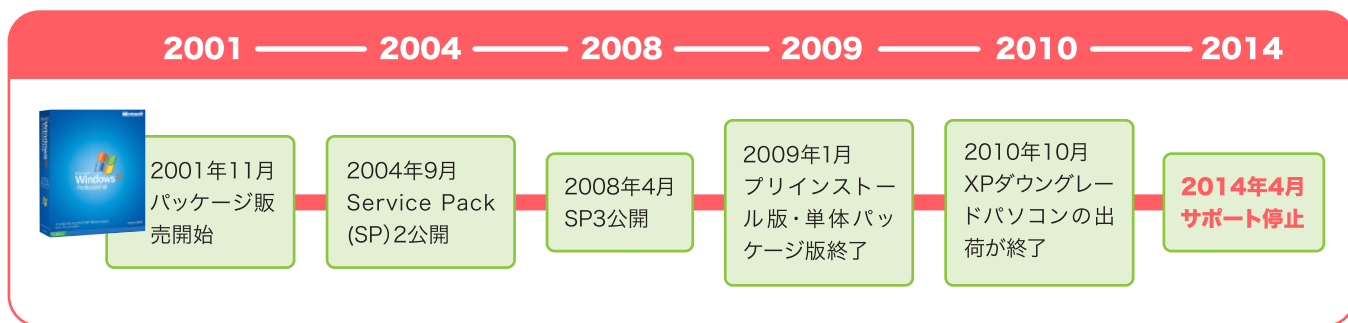


# WindowsXPは ビジネスインフラだった

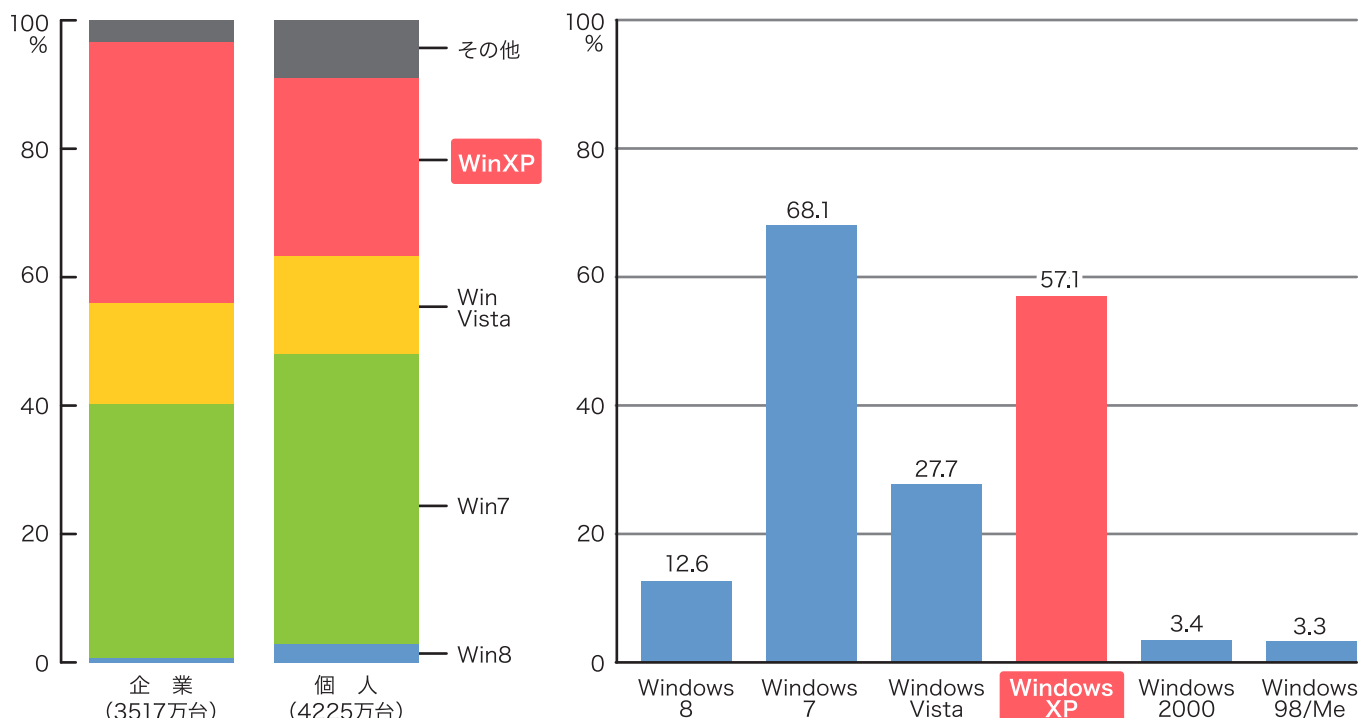
2001年11月の発売以来、約13年もの間、e-Japan戦略やインターネットの普及と共に多くの企業、学校、団体、個人に使われ続けているWindowsXPとOffice2003は、あらゆるビジネスシーンに浸透している。まるで電気、ガス、水道と同様のインフラだ。

それだけに、そのインフラの脆弱性で使えなくなる事態は、ビジネスに重要な影響をおよぼす可能性がある。

## ● 13年にわたるWindowsXPの歴史 ●



## 個人・企業ともWindows XP利用者は 全体の約半数である



※2012年11月時点、IDCジャパン調べ

※「日経パソコン」2013年3月11日号の読者調査における、利用しているOSの割合(複数回答)。併用している場合を含むが、約6割のユーザーがWindows XPを使っている。

# 新パソコン購入で解決する？

毎日使っているソフトが  
動かない!!

バーコードリーダーなど  
周辺機器が繋がらない!!

今まで使っていた  
プリンターが動かない!!

電子入札に  
参加できない!!

開発してもらった  
VBやマクロが  
動作しない!!

銀行のインターネット  
バンキングが使えない!!

確定申告の  
e-TAXができない!!

ネットワークが  
繋がらなくなった!!

Outlook Expressが  
使えない!!

ExcelとWordが  
ぜんぜん違う!!

暗号化した  
ハードディスクが  
読めない!

文字化けして  
データ移行できない!!

登録していた  
人名外字が文字化け!!

**トラブル続出の  
可能性!**



新しいパソコンを購入しても、旧パソコンで動いていたプログラムや電子メール、あるいはExcelやWordなどのデータファイル、そしてデスクトップのショートカットやブラウザにセットしたリンク先など、**さまざまなものを移行(引越)する必要があります。**

新しい家を購入しても、いままで住んでいた家で利用していた冷蔵庫やテレビなどの電化製品、ベッドやソファーなどの家具、そして住民票・運転免許証・学校・銀行の住所変更等、さまざまな要素を調べて手続きや引越をする必要がありますよね。

まさにこの部分を事前に調査し、すべて新しい家に引越できるのかを診断する必要があります。もし引越せないとなると、早急に代替案を検討しなければなりません。

放っておくと、重要な仕事が**新しいパソコンではできなくなる可能性があるのです。**  
**プリンタや利用アプリなどがWindows7/8で動作するかどうか、事前にWindows互換性センター<sup>\*</sup>で検索!!**

<sup>\*</sup><http://www.microsoft.com/ja-jp/windows/compatibility/CompatCenter/Home>

# WinXPからどこへ移行する？



## ● 最重要移行チェック ●

現在稼働中のソフトで、毎日あるいは定期的に利用していて**使えないと業務に支障がでるソフト**はあるかどうか。そのソフトはプリンタやバーコードリーダーなど周辺機器も利用していないか。

## ● クラウド利用が主流に ●

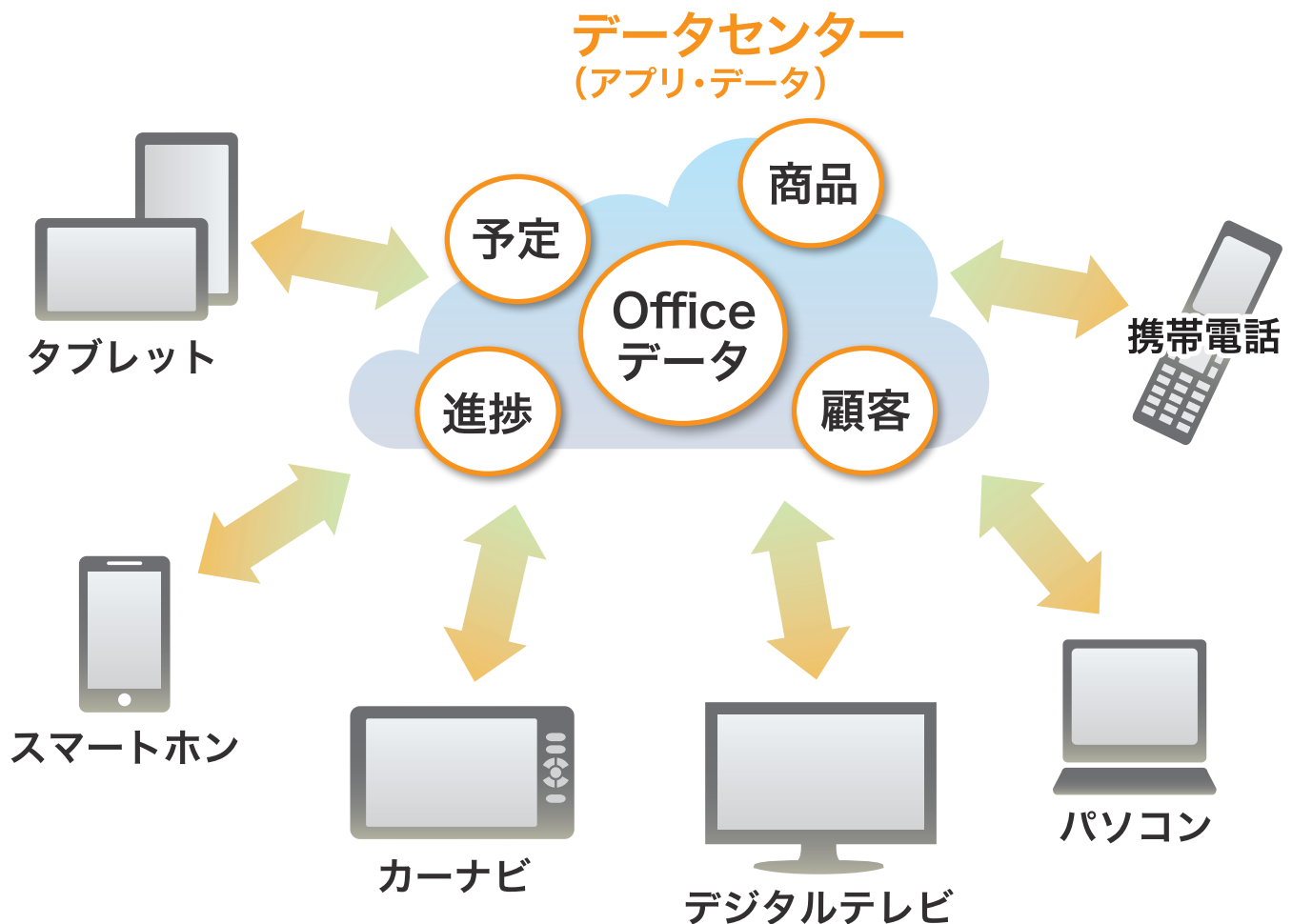
お客様との接点がどんどんネットに移ってきている。ビジネスのスピード化は、これから益々重要なテーマとなった。そのためには、営業、配達、サービスなど顧客接点でのIT化は不可欠となる課題だ。

そのために、パソコンだけでなくスマホやタブレットなどの活用も視野にいれた移行計画が必要となる。どこからでもネットに繋がって仕事をするクラウド環境への移行も、このXP移行計画に合わせて検討するとよい。

ハードウェアの種類	特長
Windows8パソコン	WindowsXPから移行するとユーザーインターフェイスが大きく違い、慣れるまで時間がかかる。タブレットと共有で利用したい場合はおすすめ。最も長くサポートを受けられるパソコンでもある。
Windows7パソコン	Windows7は5種類発売されており、個人で利用する場合には「ホームプレミアム」、企業でネットワークなど介して利用する場合には「プロフェッショナル」を選ぶ必要がある。
Android、iOS、Windows8タブレット	タブレットは、一人一台携帯して様々なビジネスシーンで利用する場合には、価格もパソコンに比べ安価なためにおすすめ。持ち運びやすい軽さと画面サイズがポイント。ノートパソコンとは違う、音声入力、GPSと地図利用あるいは予定表共有やファイル共有など外回りの営業、サービス、経営者などは今後必携の道具となる。社内パソコンと外部タブレットのクラウド連携が、今後の経営革新のポイントとなる。

# えっ!! クラウドとはなんのこと?

## クラウドとはデータの一元化



パソコン時代は、それぞれのパソコンにアプリケーションソフトもデータも入っていた。だから、そのパソコンがないと仕事ができなかった。

一方、クラウド(雲という意味)は、インターネット上にアプリもデータもあるので、**使う道具を選ばず**、どの道具からでも同じデータが見える仕組みが主流。

パソコンからでも、タブレットからでも、カーナビからでも、クラウド版アプリならメールはもちろん、給与計算や会計なども操作できる。

出先のタブレットで入力した顧客情報が、社内全員がどこからでも、**どの道具からでも利用できる**のがクラウドの特長なのだ。

# 具体的な移行の方法は？

## Windows7/8になると乗換のメリットがある

- 1 OSやソフトの**起動が速い**
- 2 大容量のメモリが使える**動作が速くなる**
- 3 ノートパソコンなど**バッテリー駆動時間が長い**
- 4 デスクトップは**省電力(エコ)機能で電気代節約**

### ● 新しいパソコンに移行 ●

Windows8またはWindows7の新しいパソコンを用意し、必要なソフトをインストール、個人設定やデータファイルをUSBなどで接続して移行する方法。

旧パソコンで動作していたソフトが、新パソコンで正常にインストール・動作するか、早急に確認する必要がある。また、旧パソコンの廃棄処分やハードディスクデータの完全消去など、専門企業でないといけない作業もあるため、十分に時間の余裕をみておくこと。

またこの機会に、新パソコンはシンクライアント化(仮想化)して専用データセンタなどのサーバーに格納しておくことも一案。セキュリティ的にも安全であるためIT専門企業と相談するのもよい。さらにBCP(事業継続計画)としても、社内にサーバーをおくより有効な手段として注目されている。



### ● 既存パソコンを初期化、新OSをセットして移行 ●

WindowsXPにダウングレードなどとして利用していた比較的新しいパソコンの場合は、個人設定やデータファイルをサーバーなどに退避させた後、XPパソコンを初期化する。その後、Windows7やWindows8、Officeなどのパッケージソフトすべてがセットアップされたイメージ設定を、初期化されたパソコンにDVDなどからコピーする。その後、退避していたさまざまな個人設定ファイルなどを戻す方法である。

学校や役所など同じ設定のパソコンの台数が多い場合など、新OSとOfficeアプリケーションのできあがりイメージを作成して多くのマシンにセットしていくため、大変有効な方法である。

また、パソコンのメーカーや型番により、作成するイメージは異なるため、同一パソコンが多くある場合など更に有効である。



# 対象台数により方法は色々

## ● OS・アプリケーションの展開方法 ●

10  
台未満  
小規模

- **手動展開** 1台ずつ手作業でインストール&設定
- **長所** 特別なツールは不要
- **短所** 非常に手間がかかる

中規模  
大規模

- **半自動/自動展開**
  - OS・アプリケーションのインストールが済んだ参照パソコンのイメージを展開(クローンを作る)
- **長所**
  - 自動展開により、IT管理者ではなくても展開できるようにすることも可能
- **短所**
  - 参照パソコンの準備に時間がかかる
  - 原則的に利用者に合わせた個別の環境設定はできない  
(コンピューター名とIPアドレスの固有設定を自動化することは可能)
  - IT管理者は展開用ツールの機能や使用方法を覚えなければならない

展開方法	手動展開	Windows 自動インストール キット (WAIK)	Microsoft Deployment Toolkit (MDT)	Windows 展開サービス	System Center Configuration Manager (SCCM)
展開数の目安	数台	10台～	10～1,000台	10～1,000台	100台～
ツールの 入手方法	—	無償	無償	Server OS に同梱	有償
個人設定	別途移行	別途移行	組み込み可	別途移行	組み込み可
アプリケーション ソフト	別途 インストール	展開イメージに 組み込み可	展開イメージに 組み込み可	展開イメージに 組み込み可	展開イメージに 組み込み可
			自動 インストール可		自動 インストール可

出典: マイクロソフトTechNet「Windows7展開センター」(<http://technet.microsoft.com/ja-jp/windows/ee517406>)



# 個人データやメール移行は？

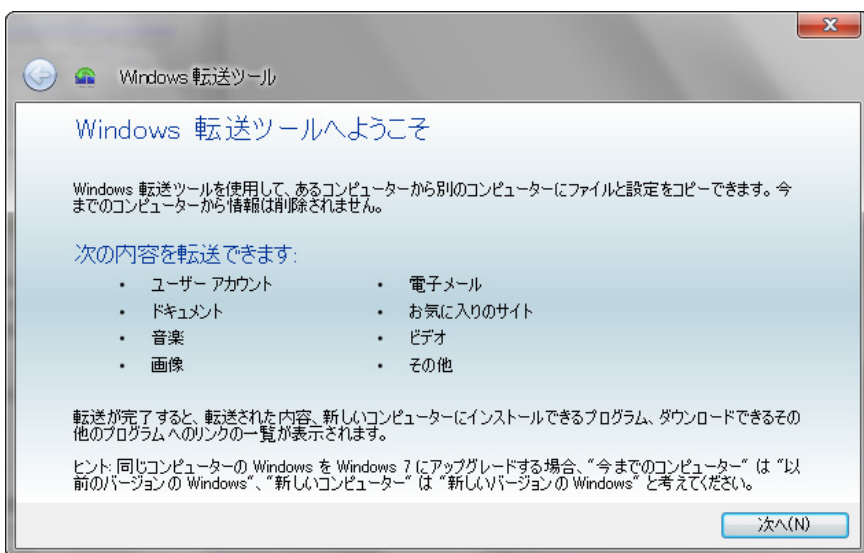
## ● 個人データの移行 ●

WindowsXPパソコンで動作していた電子メールデータやOfficeなどのドキュメント (Word文書など) や画像、音楽などを新しいパソコンに移行する必要がある。その時には、Windowsアクセサリ-システムツール-Windows転送ツール (WindowsXPファイルと設定の転送ウィザード) を利用すると便利だ。

ただし、Cドライブ以外のドライブに保存してあるファイルなどは、直接データ移行する必要がある。



USB転送ツールケーブル



### ■ 個人設定移行チェック

- ユーザーアカウント
- ドキュメント
- 音楽
- 画像
- 電子メール
- 連絡先
- お気に入りのサイト
- ビデオ

## ● 新旧パソコンファイル転送の方法 ●

### 1 USB転送ツールケーブル

転送ケーブルを購入すれば、2台のパソコンに挿すだけで、転送ツールが起動する。パソコン同士をUSB接続し、高速にデータを転送。(上記写真)



### 2 リムーバブルメディア経由

同じネットワークに接続する環境がないなら、USBフラッシュドライブや外付けハードディスクなどのリムーバブルメディアを活用する。



### 3 ネットワーク接続

2台のパソコンを同じネットワークにつなぎデータを転送する。通信速度などが環境に依存するが、サーバーに一旦保存し整理してから転送するなどでき、便利である。

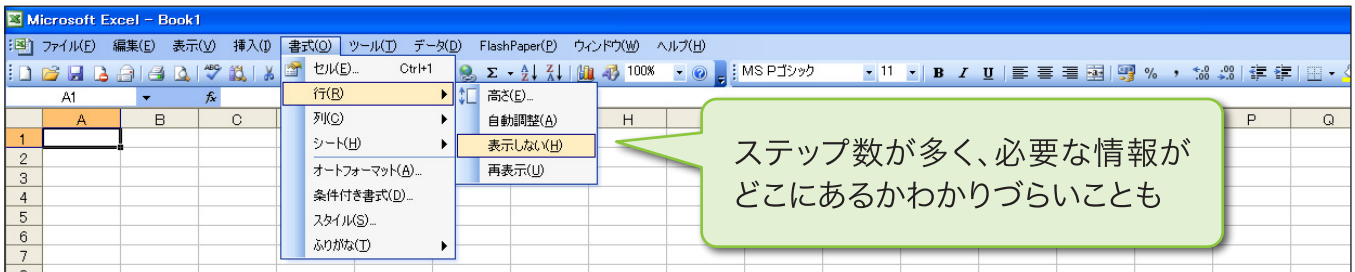


# MS Office2003の移行は？

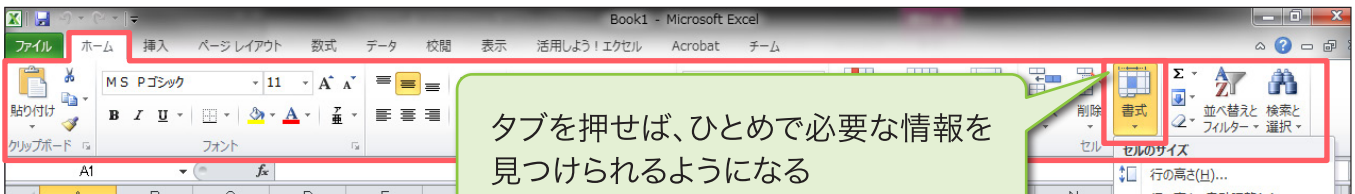
WindowsXP同様、Office2003(Word,Excel,PowerPoint,Outlookなど)のサポートも終了となるため、使えなくなる。そのため、他のOfficeに移行する必要がある。Office2003で作成されたさまざまなファイルは、新しいOffice2010や2013で読み書きは可能だ。しかし、Excelなどのマクロ機能を使って業務の自動化などしていたファイルは動作しない可能性もある。早めのチェックが必要である。

## ● ユーザーインターフェイス(UI)は大きく異なる ●

➡ 従来のOffice2003のメニューでは…



➡ 新しいOfficeのリボンユーザーインターフェイス



使い慣れると新しいOfficeのUIはスピード処理できる

## ● さまざまなOfficeが提供されている ●



# 引越するにはまず、使っているパソコンのOSを調べよう

## ● 自社内で稼働しているパソコンの種類と台数 ●

WinXP( )台

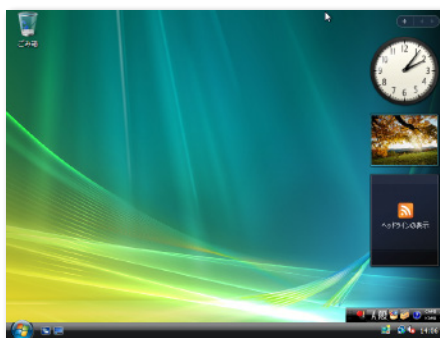
Vista( )台

Win7/8( )台

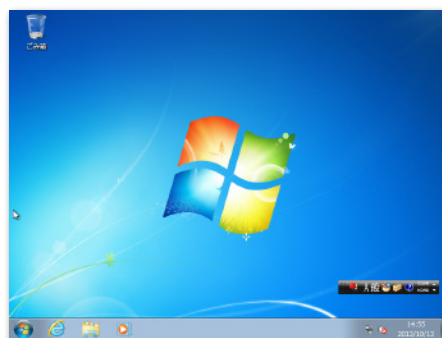
### Step 1 スタート画面でOSの違いがわかる



Windows XP

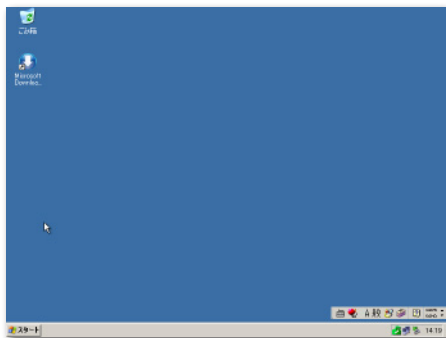


Windows Vista

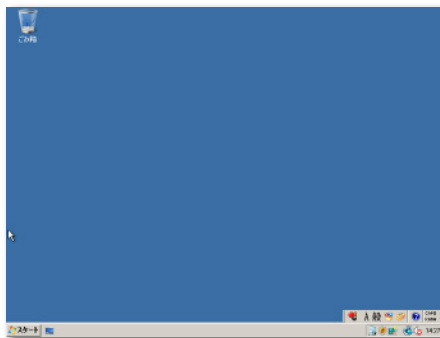


Windows 7

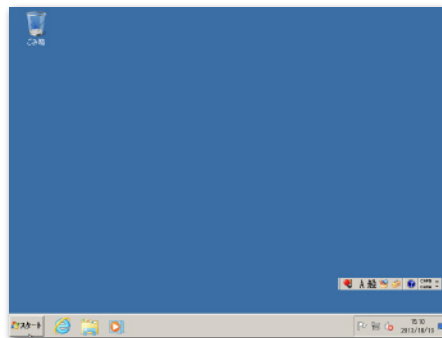
### Step 2 「クラシック」テーマにしたスタート画面だと違いがわからない



Windows XP



Windows Vista



Windows 7

### Step 3 Windowsの種類を正確に調べる(コンピューターシステムのプロパティより)



Windows XP Professional  
サービスパック1



Windows Vista Business  
サービスパック2



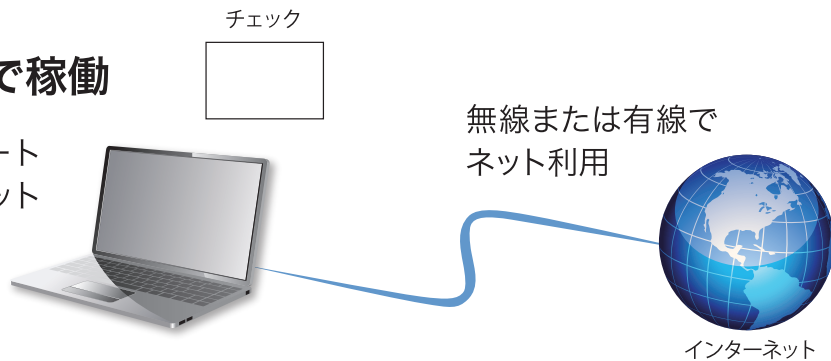
Windows 7 Professional  
サービスパック1

# 社内パソコンのネットワーク環境は？

## ● 自社内でパソコンがネットワーク化されているかどうかを把握しよう！ ●

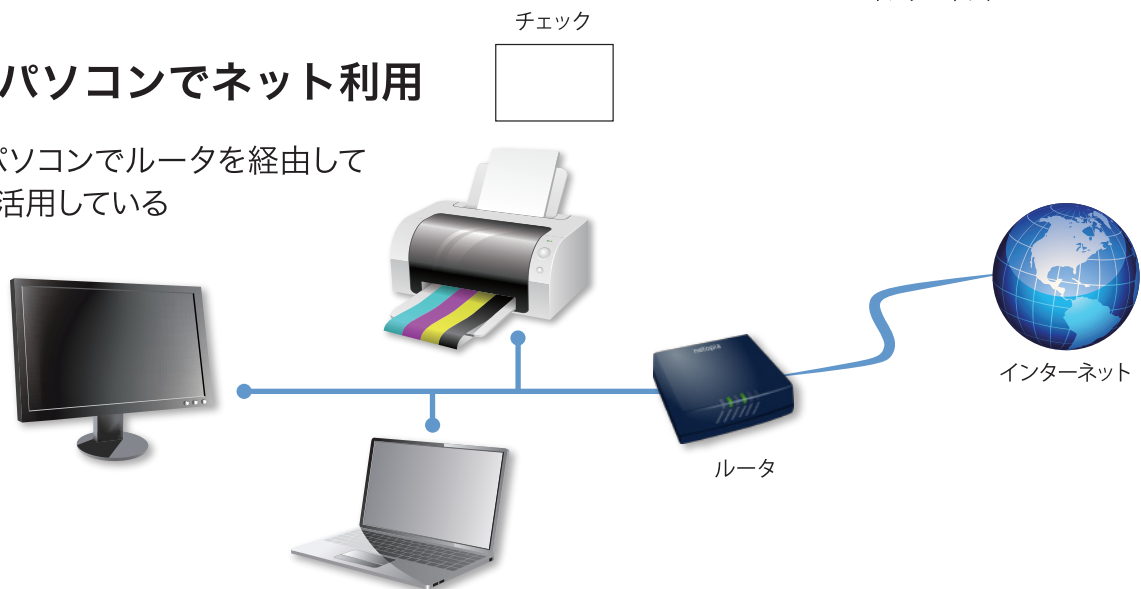
### 1 単体パソコンで稼働

デスクトップやノートパソコン単体でネット活用している



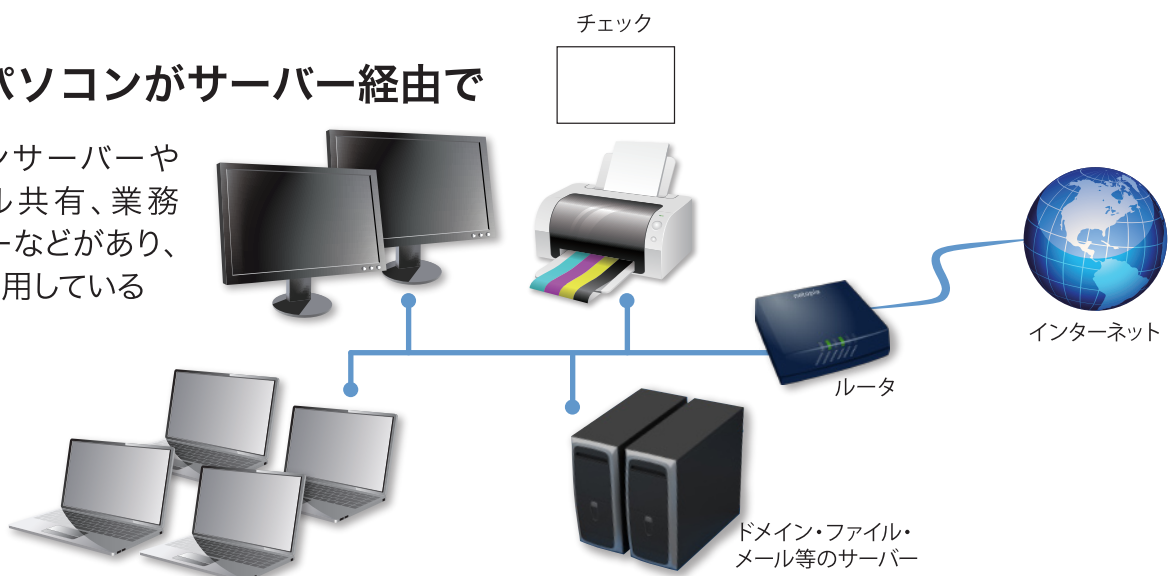
### 2 複数パソコンでネット利用

複数パソコンでルータを経由してネット活用している



### 3 複数パソコンがサーバー経由で

ドメインサーバーやファイル共有、業務サーバーなどがあり、ネット活用している



# 移行診断チェックシート1

## ● ハードウェア編 ●

対象	確認内容	YES	NO	わからない
CPU	インテル製Core i3、Core i5またはCore i7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
メモリー	4Gバイト以上(8Gバイト以上推奨)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ディスク	500Gバイト以上(起動を高速にするため、128Gバイト~256GバイトのSSDが別にあるとなお良い)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
周辺機器※	旧プリンタや周辺機器を接続するためのインターフェースは備わっているか。 ▶ 新パソコンにはパラレルポートやシリアルポートが装備されていない可能性がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	旧プリンタなどのデバイスドライバーが用意されているか。 ▶ OSを64ビット版にする場合は要注意。(従来は32ビットが多い)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※周辺機器=プリンター、イメージスキャナー、ICカードリーダー・ライター、バーコードスキャナー など

## ● 動作環境編 ●

対象	確認内容	YES	NO	わからない
コンピューター名	旧パソコンの名前をそのまま引き継ぐか。 ▶ LAN上でコンピューター名の重複は許されないため、パソコン買い替えの場合には一時的でも別の名前にしなければならない場合がある。(例:旧パソコンと新パソコンをLAN接続して旧パソコンからファイルをコピーする場合)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ネットワークアドレス	IPアドレスは固定かDHCPか。固定の場合には旧パソコンのアドレスを引き継ぐか。 ▶ コンピューター名と同様に重複は許されないため、パソコン買い替えの場合には注意。更に新パソコンになると、IPアドレスが同じでもMACアドレスが変更になる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ネットワーク構成	ドメイン構成か。(またはワークグループ構成か) ▶ ドメイン構成の場合、パソコンはドメインへ再度参加させる必要があり、コンピューター名が同じでもSID(セキュリティ識別子)が変わってしまうので影響範囲の確認が必要。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ログインアカウント	ワークグループ構成の場合、アカウントは再登録が必要。 ▶ この場合アカウントのSIDが変わるので、旧パソコンと同じユーザー名とパスワードでも別人扱いとなる。それにより権限の再設定が必要になる場合がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウェブブラウザ	IE(Internet Explorer)のバージョンが変わることによる影響を確認。 ▶ WinXPで利用していたIEは、新パソコンではIE10等新しいバージョンになるため、動作しないケースがでてくる可能性がある。別種のブラウザで動作するかなどの検討をする必要がでてくる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

# 移行診断チェックシート2

## ● アプリケーションソフト編 ●

対象	確認内容	YES	NO	わからない
対応OS	アプリケーションソフトが移行後のOSで動作するのか。 ▶ パッケージの場合には、バージョンアップができるかどうかのチェックが必要。 ▶ 自社用に開発したソフトは新しいOSでインストール、動作確認必要あり。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
不正使用の防止機能	不正コピーや不正使用防止機能を持つアプリケーションソフトの場合、その機能は移行後のOSで動作するのか。 ▶ 一般的な不正使用防止機能であるネット経由でアクティベーションする方式の場合に、再アクティベーションは可能なのか。 ▶ MACアドレスで不正使用を防止する方式は、マシンの買い換えの場合にMACアドレスが変わり、変更手続きが必要になるが可能なのか。 ▶ ハードウェアトークン(USBポートあるいはパラレル、シリアルポート)を利用した方式の場合、新パソコンや移行後のOSで動作するのか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
電子証明書	電子証明書を利用するソフト(ネットバンキング、電子入札、電子申告e-Tax等)の場合、電子証明書を再購入できるか。 ▶ 電子証明書は引越せない場合が多いので、再発行してもらう必要がある。再発行手続きは、会社謄本等を取り直すなど面倒な場合も多く、時間もかかるので、十分に余裕をもって対応する必要がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
データファイル	OSの移行にともなってアプリケーションソフトもバージョンアップを行う場合、旧バージョンで作成したデータの移行や変換は可能か。またその方法や必要な時間はどのくらいかかるのか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## ● 個人設定編 ●

対象	確認内容	YES	NO	わからない
移行対象	移行しなければならない情報や設定がありますか。 ▶ デスクトップ設定・フォント・電子メール・ドキュメント・音楽・動画など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
移行手段	移行ツールを利用して移行するか。 ▶ 移行ツールなどで移行対象の情報や設定がすべて移行できるか調査する。 ▶ 【移行ツールの例】 ○Windows転送ツール→OSに標準添付 ○USMT(User State Migration Tool)→Microsoftのサイトで無償提供(ITプロ向け)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
移行形態	一時的にどこかに情報を退避し、OS移行後に戻す。 ▶ パソコンを入れ替えない場合でも使える方法だが、情報の退避場所が必要	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	旧パソコンと新パソコンをLAN接続(または直接接続)して情報を移行。 ▶ LAN接続にあたって、コンピューター名やIPアドレスを同じにできないので、どちらかの設定を一時的に変更する必要がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 予告告知

サポート終了はWindowsXPだけではない!

## Windows Server2003サポート終了

平成27年7月 カウントダウンは始まった。

商工会議所 デジタルビジネスガイド

## Microsoft WindowsXPとOffice2003サポート終了 緊急対応ガイドブック

2013年10月25日 初版発行

発行 日本商工会議所情報化推進部  
製作 [特定非営利活動法人 OCP総合研究所](#)  
協力 [Open Tablet School OTS認定校](#)

CCライセンス



本書籍を複製・頒布  
することができます。